

～ 富士見市指定文化財の紹介 ～

難波田城跡土塁

指 定	市
種 別	記念物
種 類	史跡
員 数	1 点
指定日	令和 4 年（2022）11月28日
所在地	富士見市大字下南畑



【 概 説 】

難波田城跡の本丸西側に位置し、公園内で復元された土塁を除いては、唯一現存する難波田城の土塁です。本丸周辺は畑等の開墾により削平されたため、土塁は他に確認できませんが、江戸時代の絵地図には本丸を囲むようにして土塁が描かれているため、城館が機能していた戦国時代に同様の土塁が構築されていたものと推測されます。現状は、高さ約3m、東西幅約9mの土盛りが目視できます。また、発掘調査の結果から、色や土質の異なる土砂が交互に積み上げられ、一部に版築（土を突き固める作業を繰り返して強固にする築造方法）が確認されました。敵の侵入を防ぐための強固な土塁であったと考えられます。

難波田城跡（旧跡・難波田氏館跡）を構築する土塁は、難波田城とともに歴史を紡いできた南畑地域の歴史を知る上で重要な遺構であり、城跡の姿を地上に残す唯一の遺構であることから貴重なものです。